

新伊達博物館設計支援（CM）業務プロポーザル評価基準

評価項目	評価内容	評価点	配点	
参加者の評価	技術職員数、有資格者数、実績を評価する	技術職員数	33	
		有資格者数		
		実績の種類、件数		
各業務担当者の資格	各担当分野について、資格の内容により評価する	管理技術者	16	
		主任担当者		建築（総合）
				建築（構造）
				電気設備
				機械設備
				建設コスト管理
工事施工計画				
各業務担当者の実績	各担当分野について、同一・同種公共・公共業務の実績により評価する	管理技術者	61	
		主任担当者		建築（総合）
				建築（構造）
				電気設備
				機械設備
				建設コスト管理
工事施工計画				
価格点	価格点（20点）×提案者のうち最も低い見積価格／提案者の見積価格（小数点第2位以下四捨五入）	20		
業務実施方針	本業務に対する提案者の取組方針と体制について	60		
	各業務担当チームの特徴について			
	業務工程及び業務上特に配慮する事項について			
提案項目（テーマ①）	基本設計及び実施設計段階における品質・コスト・スケジュール管理の具体的方策について	60		
提案項目（テーマ②）	本事業の特性に対して有効と考えられる支援方策について			
提案項目（テーマ③）	高い設計品質・精度を確保するための工事費積算資料の確認及び実施設計図書等の内容の確認業務の具体的方策について			
合 計			250	

2 評価の方法について

- ① 参加者の評価、各業務担当者の資格、各業務担当者の実績、価格点については客観的に評価する（満点130点）。
- ② 各審査委員は業務実施方針、提案項目について提案者ごとに点数評価を行う（満点120点）。
- ③ 客観的評価と審査員評価を合算した値（250点）×審査委員数の総合計点の6割を最低基準点とし、最低基準点に満たない提案者は選外とする。
- ④ 客観的評価と審査員評価を合算した値が最も高い提案者を受託候補者として特定する。ただし、各配点を合算した値が同点の場合は見積書の金額が低い者を受託候補者とする。
- ⑤ 提案者が1者のみの場合で、評価点を合算した値が最低基準点を満たすときは、当該提案者を受託候補者として特定する。